

柔整療養費の改定 4月1日から

3月18日に行われた「第3回柔道整復療養費検討専門委員会」で療養費の改定が決定した。消費税率の引き上げに対応して、改定率は+0.68%となった。4月1日より以下の項目について実施される。

初検料 1,335円 → 1,450円 再検料 295円 → 320円

柔道整復師が地域包括ケアシステムに参入するには

第26回機能訓練指導員実務研修会 (第9回フォローアップ講習会)



3月16日(日)午前10時から11時30分まで、愛整会館講堂において、勤務柔道整復師22名を含む257名が参加し、第26回機能訓練指導員実務研修会(第9回介護予防認定柔道整復師フォローアップ講習会)が開催された。

講師に藤田保健衛生大学医療科学部学部長の金田嘉清先生をお招きし、「地域包括ケアシステムとその先にあるもの—参入のために柔道整復師がすべきこと—」と題して、介護を取り巻く環境や体制について、過去からの背景、現状分析、将来への予測と方向性などを統計データに解説を加えながら分かりやすくご講演頂いた。

今回で9回目となる金田先生は、ゆったりとした体格と話術、聴き取りやすい言葉で、「陰の本音の言葉」をまじえ会場から納得の笑いをとりながら、次のように詳述された。

団塊の世代が高齢化と少子化により、今後急速に高齢化が進み、やがて「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい「肩車型社会」が訪れる。高齢者人口の3割(約1,000万人)が医療・介護を必要とし、そのうち3割(約300万人)が要介護3以上、さらにそのうち3割(約90万人)が単独者という「3・3・3の予想」がすでに当てはまりつつある。今後の介護保険を取り巻く状況は厳しく、新たな社会保障システムが求められる。

そこで厚労省が打ち出してきたのが、医療・介護・生活支援・権利擁護・住居の保障・低所得者への支援など、現状分断されているサービスに有機的な連携を得るための地域包括ケアシステムである。

金田先生はシステムの位置付けや方向性を詳しく紹介するとともに、必ずしも理想どおりに進んでいない現場の実態なども明らかにされた。

認知症高齢者が増加するなかでその予備軍は2~3倍あるといわれているが、地域でそれを評価できる体制は現在まだ全く確立されておらず、誰がやれるかもはっきりしていない。その状況下で、長谷川式などの認知症評価スケールを用いて予備軍を抽出し、運動器の機能訓練が認知機能の向上に有効であるかどうかを科学的に検証していくことが、柔道整復師がシステム参入のためにすべきことであるので、ぜひ進めてほしいと金田先生は提案された。



連盟総会開催

3月16日(日)午後1時から、午前の機能訓練指導員実務研修会に続き、会員61名(委任状提出580名)の出席を得て、愛知県柔道整復師連盟総会が開催された。

山本正大総務部員の司会、木村 雅克(一宮)・竹上 勝(笠寺) 正副議長の議事進行のもと、上程された以下の5議案が滞りなく審議・承認され、午後1時35分終了した。

1. 平成25年分事業報告承認の件
2. 平成25年分収支決算書承認の件
3. 監査報告
4. 平成26年分事業計画(案)承認の件
5. 平成26年分収支予算書(案)承認の件



Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
佐野英政	S53.7.3	刈谷	米田柔整	式段	ジム
岡田新平	S47.3.11	刈谷	米田柔整	初段	ヨガ
早川知宏	S60.5.13	刈谷	米田柔整	—	映画鑑賞
太田 裕	S63.11.2	一宮	名古屋福祉	一級	サッカー
山田久美	S54.6.25	中村	米田柔整	—	温泉巡り



子どもと一緒に金閣寺にて。

山田久美会員



佐野英政会員



岡田新平会員

snapshot

太田 裕会員



早川知宏
会員

健康柔体操2013講習会開催

3月16日(日)、連盟総会終了後の午後1時45分から2時30分まで、昨年国民に向け分かりやすい形に取りまとめた新バージョンを習得するために、事業部主導による健康柔体操2013講習会が会館講堂で開催された。

講師には昨年8月の第5回健康柔体操指導者養成講習会に本会代表として参加した、健康柔体操指導員 石川 真会員(半田)があたり、新たに加えられた「波の形」・「水平の形」・「ひねり当て」・「納めの呼吸運動」を中心に、10動作10分ほどの体操を実践指導。参加者45名が額に汗を浮かべながら、椅子や机を片づけスペースを広げた会場で熱心に体得に努めた。

今後、各柔道大会の準備運動、二次予防事業や各地の健康祭り等の健康増進公益活動で普及が図られる。



両手を突き上げる動きなどを学ぶ受講者
—名古屋市中区の県柔道整復師会館で

柔道の動きで健康に

名古屋「柔体操」浸透へ講習会

柔道の動きを元にした「健康柔(やわら)体操2013」の講習会が16日、名古屋市中区にある柔道整復師会館で、県内各支部の柔道整復師45人が参加して開催された。受講した会員は石川真(半田)指導員が講師を務めた。石川真指導員は「柔道の動きを取り入れた『波の形』・『水平の形』・『ひねり当て』・『納めの呼吸運動』を中心に、10動作10分ほどの体操を実践指導。参加者45名が額に汗を浮かべながら、椅子や机を片づけスペースを広げた会場で熱心に体得に努めた。今後、各柔道大会の準備運動、二次予防事業や各地の健康祭り等の健康増進公益活動で普及が図られる。」

中日新聞 (3/17付)

名古屋シティマラソンケア・救護に17名が参加



3月9日(日)、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2014」が開催され、「名古屋シティマラソン2014」のハーフの部のランナーに対して本会会員17名がケア・救護活動を行った。

去年とほぼ同じメンバーの会員が午前8時30分、白川公園に集合し、小林事業部長、河合・井上両事業部員、石川 真会員、押谷昌之会員らの主導にて、愛整テント・柔整看板・簡易ベッド10台・折りたたみ担架・衛生材料・バスタオル等の資材を2台の荷物搬入許可車両より搬入し設営を開始。佐久間会長の挨拶後、準備や打ち合わせ等を行なった。

午前11時40分頃から午後2時45分にかけて、去年より約3割増しの222名(うち女性42名)のランナーに対し、柔整手技・ストレッチ・アイシング等を施行した。本コースのアスファルトの硬さを指摘するランナーの声が複数あり、走路などの環境も要因なのか、ケアしたランナーの8~9割に腓腹筋・ヒラメ筋の疼痛の訴えがあった。

開催
予告

4月13日(日) 10:00~ 愛知県武道館大道場
第23回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会